

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

## RSウイルス感染症の流行が始まりました！



RSウイルス感染症が流行しています。7月後半から徐々に検出数が増加しており、乳幼児を中心に感染が確認されています。ゼーゼーがひどかったり、肺炎で入院されている患者様も多数いらっしゃいます。**特に注意が必要なのは3カ月未満の乳児期早期のお子様です。**RSウイルス感染症にかかると重症化しやすいため、かからないように周りのご家族が注意しなければなりません。

赤ちゃんがRSウイルス感染症にかかる原因は、きょうだいや保護者からの接触感染です。

○咳があればマスクをする

○赤ちゃんに触れる前には必ず手洗い、うがいをする

家族みんなで赤ちゃんを守ってあげましょう!!



## RSウイルス感染症について

### 主な症状は？

鼻汁や鼻づまりから始まり、次第に湿っぽい咳や喘鳴が増えてきます。特に乳児は要注意で、肺炎や気管支炎になることがよくあります。

### 乳児で感染したら気を付けることは？すぐ受診したほうがいい？

まずは鼻汁を吸引して、呼吸を楽にしましょう。赤ちゃんは舌が大きいので口呼吸はうまくありません。鼻が詰まるとすぐに呼吸がしづらくなります。喘鳴が聴かれ呼吸が速くなってきたり、哺乳力が落ちてきたら、迷わず受診を考えましょう。うまく眠られなくなってきたときも早めに受診してください。

### 治療する薬は？

RSウイルスに対する特効薬はありません。鼻汁や痰の吸引や、痰を柔らかくする薬を吸入するなどの対症療法が主体になります。乳児で呼吸障害が強い場合は入院加療が必要になることもまれではありません。

## 伝染性紅斑（りんご病）が流行しています！

### 伝染性紅斑（りんご病）ってどんな病気？

ヒトパルボウイルスB19が病原体のウイルス感染症です。感染後2週間くらいで顔、手足、おしりなどに発疹が出現します。特徴的なのは、両ほほに紅斑が拡がり、リンゴのように真っ赤になります。発疹は1週間以内に消えることが多いです。5年ごとの周期で流行し、今年はその流行年です。

### どうやってうつりますか？

唾液などの飛沫感染や接触で感染します。感染力が強いのは発疹が出る1週間前で、症状出現時には感染力はほとんどありません。

### 気を付けなければならないことは？

一時的に骨髄で血液を作る力が抑制されて、もともと溶血性貧血の患者では急激に貧血が進むことがあります。健常者でも白血球や血小板が減少して、点状の出血斑が出現することがあります。

## 当院の流行状況

まだまだ手足口病の報告があります。減ってきてはいますが収束するにはまだ時間がかかりそうです。

**RSウイルスの検出数が多くなってきました。**毎年この時期に多く報告数があります。これから注意が必要です。

伝染性紅斑（りんご病）の報告が続いています。

ヘルパンギーナの患者数が増えています。





## 8月の製作です！



### 当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。